

ヘルスサービスとしての自動車に関連する世界の業界収束と革新的技術（～2025年）

【概要】

本調査では、自動車業界の HWW（ヘルス・ウェルネス・ウェルビーイング）機能の分析と予測を実施しています。自動車 OEM の成長機会と戦略を特定してヘルスマニタリング機能を含めた比較分析を通じた考察や主要な HWW 関連企業プロファイルも提供しています。調査対象地域はグローバル、調査対象期間は 2025 年までです。

【内容一覧】

戦略的提言

成長機会分析

- 自動車 HWW（ヘルス・ウェルネス・ウェルビーイング）市場の概況
- 自動車 HWW のセグメンテーション
- 自動車 HWW 市場の主要競合他社
- 主要成長指標
- 自動車 HWW 市場の成長要因
- 自動車 HWW 市場の阻害要因
- 予測の仮定
- 総市場予測：シナリオ 1（低い浸透率）
- 総市場予測：シナリオ 2（中程度の浸透率）
- 総市場予測：シナリオ 3（高い浸透率）
- 市場予測の考察
- ステークホルダーの比較分析：自動車 OEM
- ステークホルダーの比較分析：Tier1 および Tier2 サプライヤー
- ステークホルダーの比較分析：技術系スタートアップ

市場分析

- 主な調査結果
- 高齢化で拡大する医療提供の機会とニーズ
- 車内空気質管理：重要な機能
- 生活の一部になりつつある自動車により機会拡大が見込まれる車内 HWW サービス
- ヘルスケアにおけるテクノロジーの変化
- 自動車のテクノロジーシフト
- 車内 HWW：ケアの提供からライフスタイルアバターまで
- 車内機能とヘルスケア機能のマッピング
- 車内 HWW サービスの進化

- 自動車 HWW エコシステム
- 車内でのヘルス・ウェルネス監視の概念
- 自動車業界における HWW セグメンテーション
- 組込型の自動車 HWW 機能
- 生体認証およびセンシング技術に注力する自動車メーカー
- 追加実装型と通信型のテクノロジー
- 車内 HWW に活用できる追加実装型のテクノロジー
- コネクテッドカー+ウェアラブルテクノロジーで注目が高まる HWW 機能
- 車内 HWW に活用できる通信型のテクノロジー
- HWW の今後の機能に関連するコネクテッドカープラットフォームおよびソリューションプロバイダー
- HWW サービスの成長の鍵となるイノベーション
- 車内 HWW を今後促進するユースケースの事例

競合情勢分析

- OEM : Ford
- OEM : Mercedes Benz
- OEM : Volvo
- OEM : JLR
- OEM : Honda
- OEM : Hyundai/Kia
- Tier-1 サプライヤー : Valeo
- Tier-1 サプライヤー : Bosch
- Tier-1 サプライヤー : Continental
- Tier-1 サプライヤー : Comfort Motion Global
- Tier-1 サプライヤー : Yanfeng
- 技術系スタートアップ : Adam Cogtec
- 技術系スタートアップ : Vigo
- 技術系スタートアップ : Freerlogic
- 技術系スタートアップ : Cerence
- 技術系スタートアップ : binah.ai
- 技術系スタートアップ : Affectiva

自動車 HWW ソリューションの実装を取り巻く課題

- コネクテッドカーの HWW サービス普及に関連する規制概況
- コネクテッドカーの HWW サービス開発における責任と懸念
- HWW 車両技術における OEM の責任のマッピング

HWW 業界における COVID-19 の影響（短期、中期、および長期）

- 自動車とモビリティを再編する COVID-19
- ヘルス機能に移行する消費者の自動車購入の考慮事項
- COVID-19 の影響 : OEM の緩和戦略と HWW

結論と将来の展望

成長機会
次へのステップ